



大分合同新聞  
ワークシート

大分合同新聞  
2023年  
8月8日(火)  
朝刊 1面

# 県内ふるさと納税苦戦

## 107億円 4年連続過去最多でも

## 九州では最下位

22年度

大分県内のふるさと納税が苦戦している。2022年度に県と18市町村に寄せられた額は計107億2193万円。4年連続で過去最多を更新したものの都道府県別では28位、九州・沖縄では最下位にとどまる。地域間競争が激化する中、県内の自治体は新型コロナウイルス禍からの回復を見越した体験型商品など返礼品の充実に力を入れ、納税者にアピールする。

総務省によると、22年度  
の全国1位は北海道で、2  
〜5位は福岡、宮崎、鹿児  
島、佐賀の各県が続いた。  
市町村別のトップは宮崎県  
都城市で約19.5億円。こ  
の他、佐賀県上峰町、福岡

の、全国順位は23位から  
徐々に低下した。  
県内トップは国東市の21  
億2677万円で8年連続。  
カメラや地元ブランド豚を  
使った加工品が人気だっ  
た。ただ、「力を入れ始めた

自治体名	金額(円)	増減額(円)
大分市	9億8446万	893万
別府市	8億4811万	1億8万
津久井市	2億4941万	5194万
田原市	4億1917万	▲4527万
杵築市	8億9621万	2億2799万
杵臼川市	6億5949万	6853万
久住市	1億557万	▲6431万
田原市	4億3524万	▲1億433万
高田市	4億2880万	▲1927万
杵築市	9億2336万	9893万
佐野市	6億823万	1億3536万
宇佐市	1億8534万	▲4311万
布田市	5億5846万	3億3345万
東国東市	21億267万	4119万
重珠町	981万	336万
玖波町	8億6201万	6902万
玖波町	2億826万	9950万
玖波町	2億1094万	8367万
大分県	2629万	1720万
合計	107億2193万	10億6290万

※1万円未満は切り捨て。▲はマイナス。増減は21年度と比較

順位	自治体名	金額(円)
1	北海道	1452億8967万円
2	福岡	550億8927万円
3	宮崎	466億4440万円
4	鹿児島	424億6435万円
5	佐賀	416億4278万円
11	熊本	287億7306万円
22	長崎	160億2854万円
27	沖縄	123億3133万円
28	大分	107億2193万円

※総務省の資料を基に作成。1万円未満は切り捨て。白抜き数字は全国順位

九州は多くの県が  
上位に名を連ねる



（上から時計回りに）返礼品の国東市のウインナー、大分市の吉野の鶏めし、由布市の宿泊補助券



県外自治体があり、伸びが鈍化している」（市活力創生課）と危機感を募らせる。おおいの豊後牛のヒレステーキが人気の竹田市は、約2割減の4億3524万円だった。市総合政策課は「返礼品の開発に取り組んできたが、広報が足りなかつたかもしれない」と明かす。

一方で伸び率が県内トップの、全国順位は23位から徐々に低下した。県内トップは国東市の21億2677万円で8年連続。カメラや地元ブランド豚を使った加工品が人気だった。ただ、「力を入れ始めた

ふるさと納税 集まりがちな財源を地方に移す狙い。2008年に始まった。応援したい自治体を選んで寄付すると、住民税などが軽減される。返礼品は地場産品などで寄付額の3割以内と規定されている。

〔問①〕 寄付額の大分県内トップの市町村はどこ？ 22年度の金額と増減額は？

〔問②〕 都道府県順位で低迷する大分県。挽回策を考えよう。

〔問③〕 あなたの市町村の返礼品を調べ、ふるさと納税受入額アップを図るための改善点や、追加した方がいい返礼品を考えよう。